

令和 4 年度事業報告書並びに決算書類

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

公益財団法人大阪府私学総連合会

令和4年度 事業報告

【 基本方針 】

「教育に携わる者の福祉の増進を図ることによって、大阪府下の学術の振興をはかり、教育、スポーツ等を通じて大阪府民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養すること」を目的として以下のとおり運営した。

1 公益目的事業

会員法人の教職員へ支給する退職資金給付事業

大阪府内における私立学校の設置者に対し、その私立学校に勤務する教職員に支給する退職金に必要な資金の交付を行い、私立学校の教職員が安心して教育活動に専念できる環境を整備することと学校教育の基盤整備を図ることを目的に本事業を運営した。

(1) 退職資金給付状況

令和4年度（第54年次）の教職員に対する退職資金は、下記のとおり給付を行った。

区分	給付人員	給付金額	備 考
小・中・高	431	2,854,750,541 円	
幼	904	992,933,257 円	私学関係団体を含む
合 計	1,335	3,847,683,798 円	予算額 45 億円

(2) 学校法人等の異動

区 分	令和4年 3月末	校園の 新設・増設	廃 止	令和5年 3月末	備 考
小・中・高	1 8 7		1	1 8 6	
幼	3 8 8	3	1	3 9 0	
合 計	5 7 5	3	2	5 7 6	

- ① 新規加盟法人（加盟金 1 万円徴収） 無し
- ② 新設校・園の加入 3 園
- ③ 休・廃校園 1 校 1 園

(3) 教職員の異動

区 分	令和4年 3月末人員	令 和 4 年 度						令和5年 3月末人員
		加入	転入	復職	退職	転出	休職	
小・中・高	5,891	415 (1)	22	38	428 [1]	22	50	5,866
幼	6,833	972 (3)	59	147	956 [3]	59	253	6,743
合 計	12,724	1,387 (4)	81	185	1,384 [5]	81	303	12,609

注1：[]内数値はみなし退職者数、()内数値はみなし退職後の再加入者数

みなし退職・・・勤続47年に達した加入者、並びに身分変更等で大幅に給与額が減少した加入者が一旦退職金額を確定保留し、新たに1年目の掛金率から開始、実際の退職時に合算して給付することにより、平均標準給与減少による給付の減額を抑制できる制度。

(4) 基金保有額と責任準備金に対する保有割合

基金保有額 19,913,169,758円 (令和5年3月31日現在)
(未収負担金を含む)

責任準備金 42,745,006,000円 (令和5年3月31日現在)

保 有 割 合 0.466

- ・年金数理的計算において算出された「責任準備金」は、令和5年3月31日評価基準日現在42,745,006,000円となっている。なお、年金数理的計算は、野村證券株式会社年金研究所に委託し、厚生年金保険法に規定する要件を備えた年金数理人が、将来の給付現価から負担金現価を控除して算出。

(5) 財政状況について

大阪府補助金削減に伴う財政難を打開するため、平成26年度に負担金率並びに給付乗率の改定を実施した効果により徐々に財政が再建され、60%を超えた責任準備金の保有率も、令和2年に制度の適正化を図ることを目的に負担率の引下げ、給付率の引上げを行ったことで一気に30%台まで下がった。

この制度改正から3年が経過し、保有率も少しずつ回復しているが、加入者数の減少に伴い、中長期的には資産規模の縮小が懸念されるも、今のところ単年度で余剰資金を積立資産に繰越できる財政状況である。

① 大阪府への要望

大阪府補助金交付率の国標準額（千分の36）への復元のため大阪府知事に対し、令和4年12月27日付で要望書を提出した。

② 資産運用について

リスクの分散を図ることを目的に、特定の運用対象に偏ることなく既定の範囲内で幅広く投資を行うポートフォリオを構築してきたが、新型コロナウイルス感染症、ウクライナ紛争等様々な外的要因により、これまでの定石を覆す株式と債券の逆相関が作用しない稀な金融情勢の1年であった。そのため、保有している殆どの金融商品で購入価格を下回った時価評価となったが、円安の影響により外国債券の利回りが好調な他、投資信託の安定した分配金収入により、予算額を上回る運用益を得ることができた。

2 収益事業等

(1) 管理運営事業

① 大阪私学会館の運営

新型コロナウイルスの感染拡大により、予約のキャンセルが相次いでいた貸会議室の運営も、全国的な感染率の減少に伴い利用が回復し、感染拡大前の令和元年度を上回る過去最高の収益となった。

② 貸室事業

・1、2階の各フロアーを、私学総連合会の関係団体並びに構成団体の事務所として使用。

・私学関係団体等に対する「貸室」状況。

貸 室 名	面積 m ²	団 体 名
2 階事務室 3	75.9	大阪私学経営者協議会
2 階事務室 1・2	402.9	公財) 大阪府育英会

・私学総連合会構成団体の「貸室」状況。

貸 室 名	面積 m ²	団 体 名
1 階事務室 6	44.5	一社) 大阪府私立幼稚園連盟教育研究所
1 階事務室 7	64.4	一社) 大阪府私立幼稚園連盟
2 階事務室 4	98.4	一社) 大阪府私立幼稚園連盟事務センター
1 階事務室 1	68.5	一社) 大阪府専修学校各種学校連合会
1 階事務室 2	58.9	大阪私立中学校高等学校連合会 (私学人研)
1 階事務室 5	70.9	大阪私立中学校高等学校連合会
1 階事務室 4	13.7	大阪私立中学校高等学校連合会 (印刷室)
3 階会議室 311	21.9	大阪私立中学校高等学校連合会 (会議室)

③ 貸会議室事業

- ・利用者別の貸会議室料の発生高は次のとおり。

区 分		令和4年度
貸 会 議 室 料 収 入 発 生 高		64,654,679円
利用者別 比率 (%)	官 公 庁 ・ 公 益 法 人	52.01%
	私 学 及 び 同 団 体	30.94%
	民間企業及びその他一般	17.05%

④ 役員に関する事項

評議員 (任期4年) ※ 令和2年6月改選

役 職	氏 名	現 職 等
評 議 員	芝井 敬司	学校法人 関西大学 理事長
	谷岡 一郎	学校法人 谷岡学園 理事長・学長
	加藤 映子	学校法人 大阪女学院 短期大学学長
	平岡 正巳	学校法人 清風南海学園 理事長
	辻本 賢	学校法人 金蘭千里学園 理事長・学園長
	左藤 一義	学校法人 大谷学園 学園長
	加藤 武志	学校法人 はつしば学園 小学校校長
	奥野 宏	学校法人 奥野学園 園長
	白江 眞由美	学校法人 下福島学園 園長
	藤井 宣昭	学校法人 同往学園 朋来幼稚園園長
	友國 富夫	学校法人 育保学園 理事長
	藤井 静児	学校法人 藤井学園 理事長

役 員 (任期2年) ※ 令和2年6月改選

役 職	氏 名	現 職 等
理 事 長	野田 賢治	学校法人 浪商学園 理事長
副理事長	森 眞太郎	学校法人 樟蔭学園 理事長
理 事	村上 靖平	学校法人 村上学園 理事長・学園長
	井上 恵二	学校法人 追手門学院 小学校校長
	安達 譲	学校法人 ひじり学園 理事長
	岡部 圭二	学校法人 高槻双葉学園 理事長
	清水 尚道	学校法人 森ノ宮医療学園 理事長
監 事	釜谷 等	学校法人 履正社 理事長
	内藤 芳雄	学校法人 共立学園 理事長
会計監査人	有限責任あずさ監査法人	

⑤ 職員に関する事項

職 務	氏 名	担 任 業 務	備 考
館 長	松 藤 吉 弘	総 括	他団体兼務
課 長	尾 形 朗	会 館 運 営 ・ 管 理	他団体兼務
支配人	細 野 勝 久	会館運営・退職資金事務	
主 査	後 明 佳 子	庶 務	他団体兼務
職 員	赤 井 知 江	経 理 事 務	
職 員	伊 与 森 歩	貸会議室等の運営	
常勤職員	村 上 季 子	〃	
派遣職員	岡 田 早 苗	退 職 資 金 事 業 事 務	
派遣職員	和 田 美保子	経 理 事 務	

⑥ 会議に関する事項

a 理事会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
4. 6. 2	○ 令和4年（3月・4月・5月）の 資金運用【結果】 ○ 貸会議室利用状況 ○ 令和3年度 事業報告並びに決算（案）について ○ 令和4年度 資金運用管理規定について ○ 令和4年（6月・7月）の資金運用【案】について ○ 令和4年度 第1回 評議員会の開催について	報 告 報 告 了 承 了 承 了 承 了 承
4. 7. 6	○ 貸会議室の利用状況 ○ 令和4年度 第1回 評議員会の結果 ○ 令和4年 6月の資金運用【結果】 ○ 全国退職金団体連合会総会の結果 ○ 令和5年1月の互礼会開催について ○ 令和4年 7月・8月の資金運用【案】について	報 告 報 告 報 告 継 続 了 承 了 承

4. 9. 5	○ 理事長・副理事長の職務執行状況 ○ 貸会議室利用状況 ○ 令和4年 7月・8月 の資金運用【結果】 ○ 令和4年 9月・10月 の資金運用【案】について ○ 大阪府に対する要望書（案）について ○ 令和5年1月10日の互礼会の開催について	報告 報告 報告 了承 継続 了承
4. 1 1. 8	○ 貸会議室の利用状況 ○ 令和4年 9月・10月 の資金運用【結果】 ○ 令和4年 11月・12月 の資金運用【案】について ○ 大阪府知事に対する要望書（案）について ○ 令和5年1月10日の互礼会開催について	報告 報告 了承 了承 継続
5. 1. 2 6	○ 大阪府知事に対する要望書の提出結果 ○ 大阪私学新春互礼会の開催結果 ○ 貸会議室利用状況 ○ 令和4年 11月・12月の資金運用【結果】 ○ 令和5年 1月・2月の資金運用【案】について ○ 役員賠償責任保険の更新について	報告 報告 報告 報告 了承 継続
5. 3. 1 6	○ 理事長・副理事長の職務執行状況の報告 ○ 貸会議室の利用状況 ○ 令和5年 1月・2月の資金運用【結果】 ○ 清掃業者の変更について ○ 令和5年度 事業計画並びに予算（案）について ○ 評議員会の開催について ○ 令和5年 3月・4月 の資金運用【案】について ○ 役員賠償責任保険の更新について	報告 報告 報告 報告 了承 了承 了承 了承

b 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	結 果
4. 6. 2 3	○ 貸会議室利用状況 ○ 令和 3 年度事業報告 並びに決算について ○ 構成団体からの申し出による評議員の交代について	報告 報告 承認
5. 3. 3 0	○ 貸会議室の利用状況 ○ 令和5年度事業計画 並びに予算（案）について	報告 承認

⑦ 自衛消防に関する事業

「自らの建物は自らで守る」をスローガンに、より一層の防火・消防技術、防災意識の向上に努めた。

年 月 日	処 務 事 項
4. 5. 1 6	消防計画届出書提出
4. 1 1. 1 5	都島自衛消防協議会練習会参加（本大会は中止）
5. 3. 2 3	消防功績顕賞受賞
5. 3. 2 4	自衛消防訓練実施

（２）その他事業

1 私学振興に関する事業（相互扶助等事業・互礼会事業）

大阪私学新春互礼会

大阪私学の発展を祈念し、私学関係者の交友を温め結束を固める為に「教育は私学から私学はひとつ」の合言葉のもと、年頭の恒例行事として開催している『大阪私学新春互礼会』は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から令和２年以降開催を見送っていたが、今回飲食の提供を無くし、会場を例年の大阪ガーデンパレスから大阪私学会館に変更して３年ぶりに式典のみでの開催となった。

結果、参加者は２２６名と従前の半減となったが、会場の収容定員をほぼ満たし、次第はアトラクションを省いた他は従前どおりとし、盛会裏に終えることができた。